

2025年度【公・民・学連携会議】開催報告 ～那須塩原市長プレゼンとPJT-B基調レクチャー～

2025年度の東京国際大学 川越公・民・学連携会議（第4回）が、10月9日に川越キャンパスにて開催されました。公民学連携会議とは、TIUのCOCプログラムに関わる「公（行政・自治体）」「民（企業）」「学（大学）」の関係者が一堂に会し、観光地域づくりプロジェクトの活動報告や意見交換を行う場です。本プロジェクトの始動後から、月1回程度の頻度で全5回の開催を予定しています。

■ 進行次第（状況により、当日の時間・内容変更の可能性もあります）

時間	内容	備考
18:00	受付・開会のあいさつ	COC 担当講師 宮口
18:05	プロジェクトA活動報告	
18:20	プロジェクトC活動報告	
18:30	プロジェクトBメンバー紹介	
18:45	川越市の観光について	川越市文化芸術振興課職員
18:55	ゲストの皆様／講師陣よりフィードバック	
19:00	閉会の挨拶	COC 担当講師 宮口

第4回となる本会議では、主に2つの議題を中心に進行しました。ひとつは、9月29日に那須塩原市役所で実施されたプロジェクトAの最終プレゼンテーションの報告と総括です。プロジェクトAでは、那須塩原地域の強みである酪農と豊かな自然環境を掛け合わせ、スポーツツーリズム層をターゲットとしたスポーツ合宿プランを提案しました。プロテインシュークリームや練習場への榨りたて牛乳デリバリー、ファームトレーニングチャレンジ、牛乳風呂など、独自性の高い体験型コンテンツを組み合わせ、単なる商品開発にとどまらず、地域全体のまちづくりにつながる企画としてまとめました。

最終プレゼンテーションは、市長、副市長をはじめとする行政幹部の前で行われ、「市の施策として実行可能か」「地域にどのような利益をもたらすか」といった実践的な視点での評価や質疑が交わされました。学生にとっては、実社会に近い緊張感の中で提案を行う貴重な学びの機会となりました。



第2の議題として、10月から始動したプロジェクトBのメンバー紹介と基調レクチャーを行いました。プロジェクトBは「川越の観光」をフィールドに毎年活動を展開しているプロジェクトで、今年度は学生一人ひとりが関心のある課題を持ち寄り、テーマ設定から主体的に取り組んでいきます。その導入として、川越市職員の方より「川越市の観光の現状と課題」についてお話をいただき、今後の活動に向けた視座を共有する機会となりました。